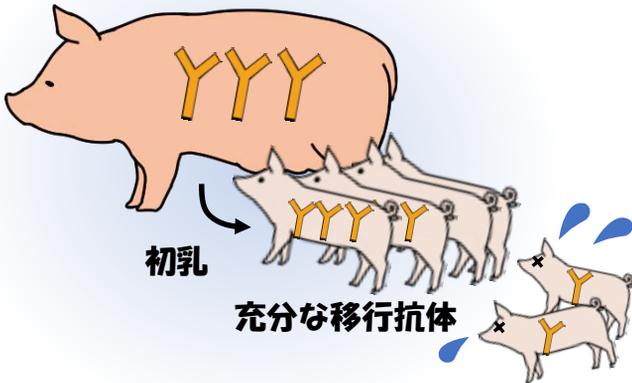


# 分割授乳を実施して 豚熱などの疾病から子豚を守りましょう



豚熱ワクチン接種前の子豚は初乳中に含まれる移行抗体により豚熱野外株から守られています。

初乳を少量しか飲めない子豚は豚熱に対する十分な移行抗体を持ってません。

初乳少量しか飲めない子豚  
= 移行抗体少なく免疫が弱い

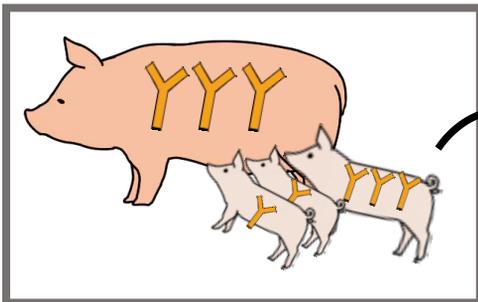
**分割授乳は豚熱発症リスクを下げるのに有効です。**

〔 分割授乳により子豚が初乳を均等に飲める  
▶ 豚熱に対する移行抗体を十分に持つ豚が増える 〕

## 分割授乳の方法

子豚が初乳を吸収できるのは分娩後24時間以内であり、分娩後素早く（可能なら6時間以内に）充分量の初乳を摂取させる必要があります。

産子数が多く初乳を飲めない小さな子豚がいる場合、30分～1時間ほど大きな子豚を母豚から離し、小さな子豚に初乳を飲む機会を与えます。



大きい子豚を  
30分～1時間程度  
母豚から離す  
(1時間以内に留める)

カゴや保温箱

これを、夜間分娩したら翌日朝及び夕方2回、  
日中分娩したら当日夕方及び翌日朝2回実施します。

分割授乳は豚熱だけでなくその他疾病の対策になり、弱い子豚の事故が軽減されるなどのメリットもあります。まだ未実施の方は、管理獣医師などと相談しながら、ぜひ分割授乳の実施を検討してみてください。